



平成29年度地域福祉推進セミナー 社協と民生児童委員の強い連携で よりよい地域づくりを進める

9月8日(金)、ロームシアター京都にて、京都市民生児童委員連盟との共催で地域福祉推進セミナーを開催しました。住民が「任んで良かった」と思える地域づくりをめざし、社協と民生児童委員の連携による活動展開を考えました。

当日は、来賓として門川大作市長、寺田一博市会議長、椋田隆知教育福祉委員長をはじめ、高城順一保健福祉局長、久保敦子子ども若者はぐくみ局長、別府正広健康長寿のまち・京都推進担当局長、各区長をお迎えし、社協関係者や民生児童委員、関係行政職員等550名の皆様に参加いただきました。

基調報告

連携の意味するところ



コーディネーター
岡崎 祐司氏
佛光大学
社会福祉学部 教授
京都市社会福祉協議会
理事

住民同士のつながりがある地域をつくる社協、困難を抱える人に個別に寄り添い支援する民生児童委員。これまで取り組まれてきた両者の活

実践報告

**地域住民のつながりを
広げる活動を展開**



井筒 隆夫氏
上京区
翔鷹学区
民生児童委員協議会
会長

翔鷹学区では、住民福祉協議会(住協II社協)が民生児童委員、老人福祉員、自治活動の取りまとめ役となつて活動を展開しています。住協主催の「認知症サポーター講座」はそのひとつです。翔鷹学区は上京

区で最も高齢化率が高い地域なので、認知症への理解を深めるために、同講座を社協、民生児童委員、老人福祉員を対象に平成18年より毎年開催。平成21年度からは、町会長まで対象を拡大しました。認知症について学んだ後は、町会長、民生児童委員、老人福祉員、福祉関係職員が、グループ別に町内の問題やその対策について情報交換する機会を設けています。町会長と地域の福祉関係者の連携が深まったこ

とをきっかけに、後日、町会長が抱えていた案件が民生児童委員を通して地域包括支援センターにつながったケースもあります。学区民協はこうした活動のほかに、児童と一緒に高齢者を訪ねる「米寿訪問」も毎年実施しています。学校と民生児童委員、主任児童委員が役割分担して行うため、地域の実態を把握でき、民生児童委員と高齢者、その家族、子ども、学校とのつながりも生む活動となっています。

つながりを大切に、 豊かな生活環境づくりを



立花 満利子氏
西京区
桂学区社会福祉協議会
会長

桂学区社協は、見守り活動や居場所づくり、生活支援ボランティア「にっこにこ会」等の活動を行っています。毎年各町内から新たに選出される36名の福祉協力員とともに住民同士のつながりづくりをすすめる、福祉活動の理解者の輪を広げています。社協事業の支援や個別支援を担う民協とも密に連携し、子育て支援活

動を行うほか、地域の問題解決にまつた事例もあります。社協の事業を案内するために福祉協力員が一人暮らしの高齢者宅を訪問した際、応答がなかったため社協役員に連絡。社協役員が担当民生児童委員に連絡したところ、その方は入院されていたことがわかりました。また、庭の手入れができずに困っている高齢者を民生児童委員が「にっこにこ会」に取り次ぎ、庭木の剪定や草取り等を行ったこともあります。今後、社協活動への協力者・理解者を増やすため、福祉協力員やボランティアの関わり方や役割分担を工夫しながら、民協と連携して、豊かな地域づくりを進めたいと思います。



まとめ

最後に、岡崎教授から、「地域福祉は、地域づくりであり、人との関係づくり。時間をかけてこそ実るものなので、それぞれの違い・得意分野を考えながら、各地域で今後も活動を続けてほしいと思います」との期待が寄せられました。

**福祉事業を始めるなら
賠償責任保険は必須です!**

福祉事業者総合補償制度
「まごころワイド」をおすすめします。

充実の賠償責任補償制度、
安価な傷害見舞金補償制度など
必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

詳しい補償内容はこちらまで
福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店
京都の総合保険代理店 **SRM 株式会社 エスアールエム**
専用TEL **075-822-8613**
福祉の保険ホームページ **www.srm-net.co.jp/**

引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社
この広告は保険の特徴を説明したものです。
詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」
イベントを開催される場合には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

福祉専門チームによる安心の事故対応、京都市社会福祉協議会、
京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。